

Minami Kyushu University Syllabus																											
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科																						
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング																					
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次																				
教員氏名	村上 眞珠美			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) D P3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)																						
授業概要	教員の指導による研究計画・研究方法・研究報告等の事前学習と、学生自らがこれまでの臨床栄養学で学んだ分野を選択し、企画・運営・交渉・調査・分析等を進めて、研究論文としてまとめる。 国立病院で管理栄養士としての経験に基づく授業を行う。																										
関連する科目	臨床栄養学																										
授業の進め方と方法	専攻生が主体となって取材、集計、まとめ、報告を行うが、その中で必要に応じて教員による勉強会を適宜実施する。																										
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>第1回～ 5回</td> <td>ゼミの年間計画および研究テーマの検索</td> </tr> <tr> <td>第6回～ 10回</td> <td>研究テーマの決定と論文の書き方・まとめ方</td> </tr> <tr> <td>第11回～15回</td> <td>研究内容の実地プラン作成</td> </tr> <tr> <td>第16回～20回</td> <td>研究調査実施準備①</td> </tr> <tr> <td>第21回～25回</td> <td>研究調査実施準備②</td> </tr> <tr> <td>第26回～30回</td> <td>研究調査実施</td> </tr> <tr> <td>第31回～40回</td> <td>研究調査のまとめ</td> </tr> <tr> <td>第41回～54回</td> <td>論文作成</td> </tr> <tr> <td>第55回～59回</td> <td>論文発表の準備</td> </tr> <tr> <td>第60回</td> <td>研究論文発表会</td> </tr> </table>							第1回～ 5回	ゼミの年間計画および研究テーマの検索	第6回～ 10回	研究テーマの決定と論文の書き方・まとめ方	第11回～15回	研究内容の実地プラン作成	第16回～20回	研究調査実施準備①	第21回～25回	研究調査実施準備②	第26回～30回	研究調査実施	第31回～40回	研究調査のまとめ	第41回～54回	論文作成	第55回～59回	論文発表の準備	第60回	研究論文発表会
第1回～ 5回	ゼミの年間計画および研究テーマの検索																										
第6回～ 10回	研究テーマの決定と論文の書き方・まとめ方																										
第11回～15回	研究内容の実地プラン作成																										
第16回～20回	研究調査実施準備①																										
第21回～25回	研究調査実施準備②																										
第26回～30回	研究調査実施																										
第31回～40回	研究調査のまとめ																										
第41回～54回	論文作成																										
第55回～59回	論文発表の準備																										
第60回	研究論文発表会																										
授業の到達目標	これまでに培ってきた臨床栄養学の知識や実践力の集大成として、自らが取り組んだ研究テーマに沿った内容を論文としてまとめ、プレゼンテーションを通して報告することができる。																										
授業時間外の学修	<p>予習: 研究テーマに関連した文献を読む。食に関する最新のニュースについて説明できるように簡潔な文章にまとめる。</p> <p>復習: 調査あるいは同室の専攻生と行ったディスカッションの内容を整理しておく。(1時間)</p>																										
課題に対する フィードバック	研究室内でまとめた論文の発表を行い評価する。	評価方法		研究に取り組む意欲20点 研究内容、発表80点																							
テキスト	各自で選択 その他、必要に応じて資料を配布する。																										
参考書	初めての栄養学研究論文 日本栄養改善学会 第一出版 2000円																										
備考																											

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	小川 恒夫			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) D P3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)		
授業概要	<p>卒業研究では食事内容が血糖や中性脂肪に与える影響を調べる研究をします。            血糖値や中性脂肪値などが食事によってどの様な影響を受けるかについて調べる。自分たちで、カロリーや栄養素を調べて、それを実際に調理し、摂取した後、血糖値や中性脂肪値を測定し、食事が代謝に与える影響について研究をします。            血糖値や中性脂肪値は同じ食事量を摂取していても患者によって様々に変化します。病院での実務経験のある教員によって臨床に即した研究が行えるように指導します。</p>						
関連する科目	<p>本授業の履修前に受講することが望ましい科目:からだと疾病Ⅰ・Ⅱ、臨床医学Ⅰ・Ⅱ、からだと疾病実習Ⅰ・Ⅱ            本授業の履修後に受講することが望ましい科目:なし</p>						
授業の進め方と方法	<p>研究テーマを与え、それに関する文献を読み、研究テーマを理解する。            研究テーマに関する実験方法を決める。            実際に実験を行い結果を出す。            結果を考察し、論文にまとめる。</p>						
授業計画	<p>第1回～第8回 血糖値および中性脂肪値についての論文を読む。            第9回～第10回 採血方法、血液の扱いについて理解する。            第11回～第40回 前日の夕食の内容を変えて、翌朝空腹で登校。血糖値と中性脂肪値を測定する。            第41回～第48回 結果をまとめてグラフを作成する。            第49回～第56回 論文作成する            第57回～第60回 研究室内で論文の発表会を行う。</p>						
授業の到達目標	<p>安全に確実に実験できるようになること。            得られたデータを正しく解析できるようになること。            解析したデータより結論を導き出せること。            得られた結論より、考察できるようになること。</p>						
授業時間外の学修	<p>実験を行う前に、実験の目的、方法、予想される結果について予習すること。            実験後は結果をまとめ考察を考えること。(予習、復習を含め1時間)</p>						
課題に対する フィードバック	研究論文を返却、解説をします。	評価方法		実験態度、論文内容を総合して行う。			
テキスト	テキストは特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献を提示する。						
参考書	参考書は特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献を提示する						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	杉尾 直子			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) D P3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)		
授業概要	<p>「食を通して地域に貢献すること」を目的とした研究です。食べ物と健康との関係を広く捉え、調査等から課題を見つけ、トータルマネジメントやサポートによって地域への還元を目指す研究です。例えば、小中学生対象に「スポーツ栄養」、宮崎市域住民を対象に「食と生活習慣病」、若年層対象に「望ましい食事」から体験活動を含めた栄養教育を実施し、生涯に渡って心身共に健全な生活を送れるよう支援支援も含めた研究等を行っています。【知識・理科を応用し活用】</p> <p>栄養教諭等で児童生徒、保護者、地域の関わった食育活動を行ってきた実務経験や体育協会での活動を活かし、取り組んでいきます。</p>						
関連する科目	3年次までに学習してきた教科全体が関連してきます。						
授業の進め方と方法	<p>①研究テーマによって、進め方が違う。他の研究室と合同で研究する場合もある。          ②いろいろな学会の論文を読んで学ぶことから始める。          ③基本的には、実態把握を行い、活動から論文を作成する。          【人間力、社会性の涵養を目指す】</p>						
授業計画	<p>第1回～第4回 研究に関する全体計画(年間活動計画)の作成からシミュレーションする          第5回～第10回 今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる          第11回～第13回 今までの各種論文研究からの自分でまとめたものを発表          卒業研究に関することを自己研鑽で学びます</p> <p>第14回～第20回 研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成          第21回～第25回 アンケートの実施及び現場での調査等          食に関するアンケート作成について学びます</p> <p>第26回～第30回 統計に関する講義          第31回～第35回 アンケート等の集計          第36回～第40回 アンケート等の分析          統計に関する講義から研究の分析について学びます</p> <p>第41回～第45回 論文の書き方          第46回～第50回 論文作成①          第51回～第55回 論文作成②          第56回～第60回 全体まとめ及び製本          論文の書き方の講義から製本に向けた論文のまとめ方を学びます</p>						
授業の到達目標	授業時間外の調べ学習から「食」に関する課題を見つけ、1年間の卒業研究を通して、統計処理や論文が書ける。 【知識理解・技能・高度な専門量】						
授業時間外の学修	【予習】年間計画を作成するにあたって、関連する研究の学会発表や論文を検索し、情報収集を行います。 【復習】途中までの研究やまとめ方を見直します。						
課題に対する フィードバック	研究途中や論文作成途中の原稿等を提出し、添削して返却します。	評価方法		・卒業研究へ日頃から取り組む態度(50点) ・論文のまとめ方(50点)			
テキスト	「食育」「スポーツ」に関する各種論文「論文の書き方・まとめ方」第一出版						
参考書	特にありません。						
備考	栄養教諭等で児童生徒、保護者、地域の関わった食育活動を行ってきた実務経験を活かし、取り組んで行く。						

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	竹之山 慎一			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) DP2(3) DP3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)		
授業概要	<p>食品学分野、とくに動物性食品(肉・乳・卵)を中心に栄養・機能性成分に富んだ食品について研究する。具体的には南九州地域、とくに宮崎県で生産される各種動物性食品を中心に、それらの栄養素や機能性成分、美味しさ、軟らかさなど、みやざきブランドアップに貢献できるような研究を遂行する。また食品副産物の有効利用を目的としたバイオリサイクルによる、食品副産物を飼料として給与しそれらから生産される動物性食品の栄養・機能性の評価や、食品の付加価値向上について研究する。これらの研究データをもとに卒業論文を作成する。</p>						
関連する科目	食品学Ⅰ・食品学Ⅱ・食品学実験・食品学加工学実習、その他管理栄養学科の必須科目全般を事前に履修することが望ましい。						
授業の進め方と方法	<p>毎回前半にパワーポイントによるプレゼンテーションを用いた講義を行い、その後の実験を展開します。授業の全般的に下記の授業計画の項目について実験し、その実験途中に質問項目を投げかけ、グループディスカッション等にて、学びを深められるようにします。また、毎回実験の内容に応じて、レポート課題等を課します。さらには卒業研究の最後に、テーマごとのグループディスカッションを行いパワーポイントによる発表を行います</p>						
授業計画	<p>第1～5回 卒業論文の年間計画および研究テーマの確認</p> <p>第6～10回 研究テーマの決定と実験方法</p> <p>第11～15回 実験・研究準備</p> <p>第16～45回 実験・研究実施</p> <p>第46～50回 論文の書き方・まとめ方</p> <p>第51～55回 論文作成</p> <p>第56～59回 論文発表の準備</p> <p>第60回 研究論文発表</p>						
授業の到達目標	<p>今まで履修してきた知識と管理栄養士として重要な人間に対する医療を軸とした演習を行い、知識を実践的なものとしていく「知識・理解」「汎用的技能」。</p>						
授業時間外の学修	<p>食品や栄養のことについて各種参考図書、専門図書、実験書および新聞等の時事問題の中で出てくる食品学について学び、日頃から食・栄養・健康について情報を収集して下さい。さらには「食品学Ⅰ」や「食品学Ⅱ」だけでなく大学での他の基礎科目、実験実習科目との関連性なども考え、予習・復習をしっかりとしてください(予習30分程度・復習30分程度)。</p>						
課題に対する フィードバック	レポートは評価後、返却及び解説を行います。			評価方法	<p>以下の項目に基づいて評価します。</p> <p>1) 学習意欲・質疑応答－40点</p> <p>2) 卒業論文－60点</p>		
テキスト	特になし						
参考書	特になし						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科	
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次	
教員氏名	山内 美智子				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) D P3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)		
授業概要	<p>宮崎県の「食文化」に関する研究を、「郷土料理」を中心に行っていく。 2020年の秋、宮崎県は、全国国民文化祭の担当県となり、県実行委員会主催事業の一つに「宮崎の食文化」が掲げられた。従来続いている本学と「みやざきの食と農を考える県民会議」、ファミリーマートとの共同企画商品のテーマを国民文化祭の事業内容に合わせて設定されることとなったが新型コロナウイルス感染拡大のため2021年に延期となった。</p> <p>本研究では、食文化の根源である郷土料理について、その地域で郷土料理が生まれた理由や先人がなぜこのような郷土料理を作ろうと考えたのか。料理の由来や地域の人々の暮らしや思い、使われる地域に根ざした食材について、ひいては料理の栄養的な特色についても研究を進めていく。また、私たちの郷土でどのような郷土料理が作れるか探求していく。そして、現代社会に薄れつつある郷土料理の継承の手立てについても研究したい。【知識・理解】【態度・志向性】【総合的な学習経験と創造的思考力】</p>							
関連する科目	「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」「公衆栄養学」「給食経営管理論」「総合演習」							
授業の進め方と方法	アクティブラーニングを取り入れた指導を行う。学生の課題等から、ディスカッションを中心に進め、発表や、調理実習の機会を設けたい。 また、継承のための「郷土料理のアレンジ」についても学生の若いセンスを発揮させ、レシピ作成学習の喚起としたい。学生が中心となる卒業研究としたい。							
授業計画	<p>第1回 研究テーマの決定と年間計画について作成方法を学びます</p> <p>第2回?第4回 研究に関する全体計画(実施計画)の作成を行い、見通しを持った研究体制について学びます</p> <p>第5回?第8回 研究する郷土料理の決定と調査方法について学びます</p> <p>第9回?第10回 調査研究(資料収集)を行い情報の整理について学びます</p> <p>第11回?第13回 郷土料理実習準備をすることで、食材について学びます</p> <p>第14回?第20回 郷土料理の実習 1 実習を行うことで、調理法や食材の生かし方について学びます</p> <p>第21回?第25回 新たな郷土料理の発案 今回までの研究を基に、発案します</p> <p>第26回?第30回 郷土料理の実習 2 実習1を受けての発案から完成に向けての実践を行います</p> <p>第31回?第35回 論文作成のための情報収集について手法を学びます</p> <p>第36回?第40回 論文の書き方について講義を受け、学びます</p> <p>第41回?第50回 調査結果から論文作成を行います</p> <p>第51回?第55回 調査結果からのまとめ(1)を行います</p> <p>第56回?第60回 調査結果から継承の手てだてについてディスカッション まとめ(2) ディスカッションを行う事で継承の手立てを深める学習をします</p> <p>第61回?第65回 研究結果の製本及び発表会を行い、研究を振り返りこれからの学びに繋がります</p>							
授業の到達目標	<p>研究を通して、給食経営管理に関する知識を構築しながら、ふるさと宮崎の食文化を学び継承へとつなげることを目的とする。</p> <p>また、郷土料理の良さや成果を広く波及させることを目的とする。</p> <p>【知識・理解】【態度・志向性】【総合的な学習経験と創造的思考力】</p> <p>卒業論文の作成を通して、研究の意義や分析の知識を身に付け論文を書くことができることを目的とする。</p> <p>研究を通して、給食経営管理に関する知識を構築し、実践へとつなげ広く社会に貢献することを目的とする。</p> <p>【知識・理解】【態度・志向性】【総合的な学習経験と創造的思考力】</p>							
授業時間外の学修	<p>(予習)全国の郷土料理にまつわる起源等について調べる。 地域に根ざした食材の背景(気候風土、交通機関等)</p> <p>(予習・復習)郷土料理とその地域の人々の郷土料理への思いを分析する。</p> <p>(復習)どのような継承の方法があるのか考察する。</p>							
課題に対するフィードバック	日本の食文化としての郷土料理をいかに守り、これからの世代にどのように継承していけば良いのか。受け継がれてきた理由や先人の思いから考察し、導き出す。	評価方法		卒業研究取組への態度(50点) 論文のまとめ(50点)				
テキスト	必要に応じて資料配布							
参考書	<p>「論文の書き方・まとめ方」[第一出版]</p> <p>「郷土料理百選 特集2新・日本の郷土食(1)」[農林水産省選定]</p> <p>「技術・家庭 家庭分野」[開隆堂]鶴田敦子・大竹美登利・石井克枝・大森玲子・他11名</p>							
備考								

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	甲斐 敬子			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) DP3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)		
授業概要	臨床栄養学分野で学んだことを基礎として、個人毎に自ら研究テーマを決定する。テーマについて文献等を検索し研究計画を作成する。計画に基づき調査・研究を行い、得られた結果についての確かな考察を行い卒業論文を作成する。管理栄養士として大学病院で調査・研究に携わった経験に基づき、調査・研究・論文作成に関する助言・指導を行う。						
関連する科目	全ての必修科目を受講し、単位を取得しておく。						
授業の進め方と方法	原則週1回の卒業研究指導(全員) 随時、個別相談・指導を行う。データーをまとめ論文作成後、発表会(パワーポイント使用)を行う。論文集を作成する。						
授業計画	第1～2回 ゼミの年間計画及び研究テーマの検索 第3～6回 研究テーマの決定 文献等の検索 第7～11回 研究内容の実施プラン作成 第12～18回 文献等の収集 第19～21回 調査用紙の作成 第22～30回 調査の実施・収集 第31～45回 調査の分析 まとめ 第46～58回 論文作成・発表準備 第59～60回 研究論文発表・協力者への報告 調査・研究の立案、実施、論文作成により臨床栄養学分野での、更なる分析・評価・考察力を学ぶ。						
授業の到達目標	研究テーマの調査を通して、今まで学習した臨床栄養学を理解すると共に、研究の意義、解析方法等の知識を身につける。 【統合的な学習経験と創造的思考】						
授業時間外の学修	研究テーマを、常に意識し日々の新聞、ニュース等も関心をもってみる。(2時間) 関係する学術機関誌は必読						
課題に対する フィードバック	研究室主催の「卒業研究発表会」を開催し、講評を行う。必要に応じて修正・加筆を行い最終の研究成果をまとめた論文とする。	評価方法	研究意欲 20点 知識の習得状況 20点 研究成果 40点 発表 20点				
テキスト	必要に応じて参考資料を用いる。						
参考書	必要に応じて参考資料を用いる。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	木村 志緒			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) D P3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)		
授業概要	人々が生活の質の向上につながるような望ましい生活習慣に改め、それを継続するにはどうすればよいのかについて研究する。これまで学んできたことを基礎とし、文献等調査や自己モニタリング体験をもとに研究計画を作成し、研究計画に基づき調査・実験等を行い、収集したデータを解析して卒業論文を作成する。						
関連する科目	公衆衛生学、健康管理概論、食事計画論実習 I						
授業の進め方と方法	グループあるいは個人でテーマを定めて取り組む						
授業計画	第1回 年間計画についての説明 第2～5回 文献等の調査および自己モニタリング(1) 第6回 文献等の調査についての発表(1) 第7～10回 文献等の調査および自己モニタリング(2) 第11回 文献等の調査についての発表(2) 第12～15回 研究計画の作成 第16回 研究計画についての発表 第17～20回 第1次調査等 第21回 第1次調査についての発表 第22～25回 第2次調査等 第26回 第2次調査についての発表 第26～30回 調査結果の集計 第31～36回 調査結果の統計解析 第37回 統計解析についての発表 第38回 論文の書き方についての説明 第39～50回 論文作成 第51～59回 発表準備 第60回 卒論発表						
授業の到達目標	卒業論文作成までの一連の流れの中で、研究の意義や解析の知識とスキルを身につける。						
授業時間外の学修	自己モニタリングの集計等を行う(各1時間) 調査結果の集計等を行う(各1時間) 発表等の準備を行う(各1時間)						
課題に対する フィードバック	発表ごとに解説を行う	評価方法		取組状況、卒業論文、卒論発表を総合して評価する。			
テキスト	必要に応じて適宜指定する。						
参考書	・論文の書き方・まとめ方(第一出版) ・必要に応じて適宜紹介する。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4 年次
教員氏名	川北 久美子			学位授与の方針との関連	DP1 (1) DP1 (2) DP2 (1) DP2 (2) DP3 (1) DP3 (2) DP3 (4) DP3 (5)		
授業概要	食べる順番が血糖値に及ぼす影響や身体活動量が体組成に及ぼす影響、身体活動量と食習慣、生活習慣との関係などの他、学生が興味のあるテーマについて、実験を通して学びます。【汎用的技能の育成】						
関連する科目	事前からだと栄養、基礎栄養学を履修し、知識を確認しておくことが望ましい。						
授業の進め方と方法	卒論テーマとなる研究を実施して、得られた結果をグラフで示す方法や、解析結果の活用法について、グループワークや個人指導を通して卒論を完成させていきます。パワーポイント資料を作成し、プレゼンテーションにて報告しながら、その都度添削をして完成させていきます。そのなかで、結果から考察を導くために、調べる内容についてヒントを与え、それに従って学生自らが調べ、調べた内容について情報共有、ディスカッションを行います。【汎用的技能の育成】						
授業計画	<p>第 1-2 回 オリエンテーション 研究室の研究テーマの説明</p> <p>第 3-4 回 研究テーマ決定</p> <p>第 5-6 回 研究テーマに沿った研究方法の検討、研究テーマに関する論文検索</p> <p>第 7-8 回 研究目的・研究方法のプレゼンテーション</p> <p>第 9-10 回 研究計画の作成</p> <p>第11-12 回 研究準備</p> <p>第13-14 回 研究1の予備実験</p> <p>第15-16 回 研究1の本試験</p> <p>第17-18 回 研究1の追加実験</p> <p>第19-20 回 研究1の実験結果まとめ</p> <p>第21-22 回 研究1の考察</p> <p>第23-24 回 研究2の予備実験</p> <p>第25-26 回 研究2の本試験</p> <p>第27-28 回 研究2の追加実験</p> <p>第29-30 回 研究2の実験結果まとめ</p> <p>第31-32 回 研究2の考察</p> <p>第33-34 回 研究1と研究2の総括</p> <p>第35-36 回 中間報告</p> <p>実験の手法、計画の立て方、進め方を学び、実験結果から得られたデータのまとめ方を学びます。</p> <p>第37-38 回 実験結果の統計解析</p> <p>第39-40 回 論文の書き方・まとめ方の指導</p> <p>第41-42 回 論文作成（諸言、目的）</p> <p>第43-44 回 論文作成（実験方法、結果）</p> <p>第45-46 回 論文考察作成を念頭に入れた関係論文、参考図書の検索</p> <p>第47-48 回 論文作成（考察）</p> <p>第49-50 回 論文作成報告</p> <p>第51-52 回 論文訂正</p> <p>第53-54 回 論文抄録作成</p> <p>第55-56 回 プレゼンテーション指導</p> <p>第57-58 回 論文提出の準備、最終チェック</p> <p>第59-60 回 論文プレゼンテーション、提出、製本</p> <p>論文作成と考察における着眼点を学びます。さらに卒後どのような場面で生かしていけばよいかも学びます。</p>						
授業の到達目標	卒業論文をまとめること【汎用性技能の育成】 研究テーマを通して学んだことを卒業後の管理栄養士業務に生かす。【態度、志向性の育成】						
授業時間外の学修	<p>【予習】なぜこの研究を行っていくかを考えた時、必然的に自身がどのようなことを知っておく必要があるのかということが見えてくると思います。必要な情報を文献や図書などから収集しておいて下さい。実験を行う場合は事前に準備や流れを理解しておいてください。(1時間程度)</p> <p>【復習】実験後は、データのまとめを行ってください。またデータから何が言えるのかを考え、それを裏付ける根拠についての情報収集を行ってください。(1時間程度)</p>						
課題に対するフィードバック	作成されたものはその都度添削していきます。完成するまでこの作業を繰り返します。	評価方法・基準	コミュニケーション力、探求力 (30点) 卒業論文の内容 (70点)				
テキスト	必要に応じて、プリントの配布や文献を提示します。						
参考書	必要に応じて資料を配布します。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科	
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次	
教員氏名	渡邊 純子				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) DP3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)		
授業概要	<p>栄養教育論分野で学んだことを基礎として、主体的に研究課題を検討し先行研究等を調査した上で研究計画を作成し、計画にそった栄養教育により得られたデータを用いて評価します。これら一連の取組みについてまとめ、卒業論文を作成する。</p> <p>管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験に基づき、全てのライフステージ対象の実践的栄養教育について指導を行う。</p>							
関連する科目	年度内に全ての必修科目の単位を取得すること。							
授業の進め方と方法	原則週1回の卒業研究指導(全員) グループディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、体験学習等を取り入れて実施する【汎用的能力の育成】。随時、個別指導を行う。							
授業計画	<p>第1-2回 ゼミの全体計画、オリエンテーション(卒業研究を進めるに当たっての留意事項等)</p> <p>第3回～第6回 研究課題の検討、先行研究、文献資料の検索・収集</p> <p>第7回～第10回 研究課題決定・研究計画の作成</p> <p>第11回～第16回 研究対象・研究内容の検討・調査票等の作成</p> <p>第17回～第24回 研究の実施・回収・回答状況の確認</p> <p>第25回～第36回 調査の集計・分析・まとめ</p> <p>第37回～第56回 卒業論文作成・研究発表の準備等</p> <p>第57回～第60回 卒業論文発表会・論文仕上げ</p>							
授業の到達目標	<p>栄養教育の評価に必要な統計について自己学習を継続し、知識と技術を深めること【知識・理解の育成】。</p> <p>新聞・テレビ・雑誌・インターネット等に掲載される情報に関心を持ち、将来の管理栄養士として、対象者となる各ライフステージにおける人々の生活習慣や心情など栄養教育に関連する事柄に対して、自分なりの考えを持つよう意識し【態度・志向性の育成】、与えられた職務を実践する能力を身につける【汎用的技能の育成】。</p> <p>将来の社会人としての礼節やコミュニケーションスキルを高める機会に積極的に参加する。</p>							
授業時間外の学修	課題解決に向けた研究計画の遂行を通して、授業で学んできた栄養教育マネジメントの意義、方法についてさらに知識・技術を深める(3時間)。							
課題に対するフィードバック	研究室主催の「卒業研究発表会」を開催し、講評を行う。必要に応じて修正・加筆を指示。最終の研究成果をまとめた論文とする。	評価方法	研究意欲30点、知識の習得状況30点、研究成果40点 以上の結果を総合的に判断する					
テキスト	必要に応じて参考資料を用いる。							
参考書	必要に応じて紹介する。							
備考								

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	生地 暢			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) DP2(3) DP3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)		
授業概要	この授業の目的は、社会に貢献できる管理栄養士を目指して、科学的視点と専門的知識及び技術を持って、良質で安全な栄養・食事管理を行える力を身につけることである。生化学および食品衛生学に立脚したテーマのもとに、そのテーマに関する情報を整理すると共に、遺伝学的、酵素化学的ならびに分析化学的手法等を用いて実験を行い、実験結果をまとめ考察を加えて、さらなる展開を図る。最終的に実験で得られた成果をまとめて卒業論文を作成する。【知識・理解の修得・問題解決力の育成】						
関連する科目	生化学Ⅰ・生化学Ⅱ・生化学実験・食品衛生学・食品衛生学実験を受講し、単位修得しておく。						
授業の進め方と方法	生化学および食品衛生学分野においてテーマを決定し、そのテーマに関する実験計画を策定し、実験を行い、得られた結果をデータ解析することによって、考察を深め、最終的に論文を作成する。【問題解決力の育成・論理的思考の育成】						
授業計画	1・2回 研究テーマの策定 第3・4回 研究テーマの決定・年間計画作成 関心がある研究テーマを探し、研究の進め方について学ぶ。 第5～10回 文献等の検索 第11～15回 実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。 第16～30回 実験とデータ解析 第31・32回 前半報告 実験を行い、得られた実験結果報告を行い、実験の進め方について検討する。 第33～47回 実験とデータ解析 第48・49回 後半報告 実験を行い、得られた実験結果報告を行い、卒業論文のまとめ方について検討する。 第50～60回 卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。						
授業の到達目標	1.課題研究の意義に関心を持ち、知識や技能を総合的に身につける。【知識・理解の修得】 2.生化学および食品衛生学分野で、課題を見つけ、その課題を解決する方法を探ることができる。【問題解決力の育成】 3.課題研究を行う過程で、健康・時間管理等を行い、スムーズに進めることができる。【自己管理能力の育成】						
授業時間外の学修	【予習】研究テーマについて、論文等を十分読んで知識を得て、実験手順について十分理解し、実験に臨むこと。得られた結果を解析するにあたって、統計処理などの技術を習得しておくこと。 【復習】得られた結果から課題を見つけ、その課題を解決する方法等を探求すること。						
課題に対する フィードバック	実験、卒業論文作成のなかで、その都度、評価・解説する。		評価方法	卒業研究に取り組む態度、結果についての考察、データのまとめ方、発表態度、論文のまとめ方などで総合的に評価する。			
テキスト	テキストは特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献を提示する。						
参考書	参考書は特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献を提示する。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	長友 多恵子			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) DP3(1) DP3(2) DP3(4) DP3(5)		
授業概要	<p>本授業の目的は、人々が生活の質の向上につながるような望ましい生活習慣に改め、それを継続するにはどうすればよいのか、また、食環境に働きかけることで生活習慣へ好影響を与える方法等について研究することです。【知識・理解を応用し活用する能力】</p> <p>これまで学んできたことを基礎とし、文献等調査や自己モニタリング体験をもとに研究計画を作成し、研究計画に基づき調査・実験等を行い、収集したデータを解析して卒業論文を作成します。【情報リテラシー・数量スキル・論理的思考】</p> <p>県庁・保健所にて行われている栄養調査等の方法の知識や実際を提示します。</p>						
関連する科目	公衆栄養学を中心とする専門科目授業全般						
授業の進め方と方法	<p>まず、研究テーマを決め、なるべく自主的に、自らの探究心を持って研究を進めます。</p> <p>研究室の他学生と協力しながら、発表に備えて、3年までに経験し学んだ知識や方法を駆使し、まとめていきます。</p>						
授業計画	<p>第1回 年間計画についての説明</p> <p>第2～5回 文献等の調査および自己モニタリング(1)</p> <p>第6回 文献等の調査についての発表(1)</p> <p>第7～10回 文献等の調査および自己モニタリング(2)</p> <p>第11回 文献等の調査についての発表(2)</p> <p>第12～15回 研究計画の作成</p> <p>第16回 研究計画についての発表</p> <p>第17～20回 第1次調査等</p> <p>第21回 第1次調査についての発表</p> <p>第22～25回 第2次調査等</p> <p>第26回 第2次調査についての発表</p> <p>第26～30回 調査結果の集計</p> <p>第31～36回 調査結果の統計解析</p> <p>第37回 統計解析についての発表</p> <p>第38回 論文の書き方についての説明</p> <p>第39～50回 論文作成</p> <p>第51～59回 発表準備</p> <p>第60回 卒論発表</p>						
授業の到達目標	<p>自己モニタリングの集計等を行う(各1時間)</p> <p>調査結果の集計等を行う(各1時間)</p> <p>発表等の準備を行う(各1時間)</p>						
授業時間外の学修	<p>卒業論文作成までの一連の流れの中で、研究の意義や解析の知識とスキルを身につける。</p> <p>【汎用性技能を応用し活用する能力】</p>						
課題に対する フィードバック	<p>学生が作成した案や途中発表についてアドバイスを行います。</p>	評価方法		<p>取組状況 20点</p> <p>卒業論文 50点</p> <p>卒論発表 30点</p>			
テキスト	必要に応じて適宜指定する。						
参考書	<p>・初めての栄養学研究論文(第一出版)</p> <p>・必要に応じて適宜紹介する。</p>						
備考							